夕刊
磐城新聞
一月十五日發行
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八、五五六番
發行所 磐城新聞合名會社

石城の年中行事
――正月の巻――
磐女郷土研究部調査

四

○十四日　小正月

また小年といひ、種々な行事の重つてある日で、先づこの朝早く餅をつく。家にもよるが草餅をつく。この餅は戸棚にも釜にも、臼にも針箱にも平常用ひてあるものには農具のはてに至るまでいろんなものに供へる。道具の正月とも云つてある位に諸道具に供へるのであるが、神棚にも古い餅ととりかへてこの新しい餅を上げる。なほこの度ついた餅を若餅と呼ぶのは今年になつてはじめてつく餅の謂である

またわただんごとか、稲穂餅といつて餅を團子の如くに木板につけて飾るのも此日で、何の木を使ふが大抵は定つてゐる樣である

此日夕飯の時、御飯が殘ると五月の苗が殘るといひ汁が殘ると苗代が殘るといひ、なますが殘るとかりしき山の刈草が殘るといつてひかへ目につくる

果實責め

柿や梨等果實のなる木の幹を鉈や斧で次のやうに呼ひ乍ら疵をつける

生り申すかなり申さんかなんねと柿の木伐つちきぞ

するとこの年は柿が鈴なりになるといふのである

むぐろよけ

この夕方つちんぼに縄をつけ、家の周圍を三度次の如くうたひながら廻る。すると田の畦を土龍が通さず田の水の持ちがよくなる

つちんぼどん（なまこどん）のお通りちやむぐろどんはお留守か

鳥小屋

十四日夜から十五日未明にかけて鳥小屋がある。男の子供達が附近の家々から竹木、炭俵等を貰ひ集めて田圃の中や空地などに小屋を建てボンデンといふ高い竿を立てる。小屋を立てる場所は肥料などをなるべく入れない淨らかな地を選ぶ中に神棚をしつらへ正月樣を祀る。圍爐裡をつくりおでんや田樂などをこしらへる。十四日の夜は子供達は母親につれられたりして小屋にお參りにゆき幾許かのお賽錢をあげおでんを貰つたりして食べる。七小屋參りをすれば病氣をしないといふ

翌日未明にこの小屋を燒くが、附近の家では門松七五三飾り等を皆持つて來て燃すが、その折餅をこの火で燒いて食べると病氣にならぬといひ、木の燃え殘りを貰つて來て門口にさげて置くと災難からのがれるといつてゐる

元旦入京
珠雲　小野務平

守夜唯聞轢轆聲
玻璃窓外曙光生
人々滿室無餘席
擁抱兒孫入帝京

近詠
松本勝雄

○かた時雨晴れし夕の空高く生れし月光さやかなりけり
○爆音と共に碎けし巖石は破竹の勢にとび散らばれり（林道工事）
○爆音に打ちくだかれし岩片のおつる谷川しぶきあげつゝ
○石工の打振る槌の音すみて反響す峽は夕づきにけり

沙　エミ子

○一そのこと入れられぬまゝ入れられずこの一生を終るへきかな

思出
八旗晃子

桃色の
ひいなこそ
我が夢
美しき
振り分けの
髮の思ひ出
いまこそは
くちはてゝ
しのびぬる
よすがなけれど
おもふだにも
ひいなよ

思ひ出の春
水町とほる

思ひ出多い
淺い春
みとせ昔に
ななとせねにし
それぞれかなしい
春でした

今日の訓へ
簀名　山人

子供が集ると、初じめは仲よくするがだんだんにわめく、泣く、はりたをすものができて、大した騷ぎである。これは何のことはなら感情や欲望やの爭ひである、こうしたものが大人になると、技巧が加はつて、愈々權謀術數となつてあらはれるのである、こゝで人間は道德のブレーキをかけいれるのである

1月16日

△柴野栗山用ひらる（天明八）△米使ペルリ浦賀に來航（安政元）△江川坦庵歿（同二）△ベックリン歿す（一九〇一）△大阪南地の大火（明治四五）

農村文化を語る（下）
谷　宇之助

この農村非常時打開の策は物質的蘇生と精神的復興にあるのである、即ち農民の特殊的な性能と文化發展の關係を考慮し農民の有する社會的使命を成就し農民の長所を他業者にまで及ぼすことである。農民の社會化である、協同化である、組合組織である。之が普及發達して農業經營が合理化され、其目的達成のために組合事業に訓練せられ、共同の利益を考へ生產品の加工に、生產能率の增進に信用の範圍なる結果と團體の偉大なる權威となり生活と經濟の合理化され尚農村の藝術化することとである。農村藝術は機械的多量生產には產み出し難い美の價値で、日常生活の用品たる農村の製作品が一般家庭に愛用さることが望ましいのである。我等は藝術品を持たぬ生活はまるで沙漠のやうで人間生活には適しない我等の天性が之を要求するのである。此藝術愛好の心の滿足を得て吾等生活が豐富となり、生活の勞苦を忘れより高き生活へ向上發展を喜ぶやうになるのである。農村から生れた工藝品で世の無味乾燥な家庭の清涼劑とすることが得策である。その價値廢直にして無盡藏なるものである。純粹な眼から見たら千萬金の骨董品にも劣らぬ美の價値を持つも少からずと思ふのである。かくして土地と人民の調和的發展をなし、幸福なる生活にいそしみ安全なる生活を得て、現代文化を謳歌することが得るに至るであらうと存するのである

一言附することは現今有爲の人材が都市へ〳〵と進出し農村指導階級の拂底である。此點より農村を『リード』する人材養成も非常時農村を活かす急務なりと信ずるのである

小説
高橋是淸
（212）松浦泉三郎作　佐々木今朝吉畫

總選擧前後（一）

休會あけの第六十八議會の再開は昭和十一年一月十一日だ

その前日、政友、民政、國同各派は各黨大會を開いて議會に臨む方針を明かにし時局に處する抱負と信念とを發表して氣勢を揚げた

政友會は既に內閣不信任案の上提を決議して政府へ挑戰の劍を研いでゐた

これに應じ政府亦、敢然應戰の決意は成つてゐた

解散必至！

政局は極度の緊張振りを示してゐた

その日は來た。二十一日午後一時再開は宣された。場内は傍聽者の群で充たされてゐた

先づ岡田首相が立つて政府の施政方針を說く。既に成つた解散の覺悟と、戰ひの手答とが首相を男氣付けてか、その演說振りは常になく悠揚として多分の餘猶を殘してゐた

次いで廣田外相が立つた雄俊な能辯が帝國外交方針を詳細に亘つて說いた

續いて藏相是淸の力强く又快暢な雄辯が詢々と訓へるやうに財政を說き終つた

そして政友會からの內閣不信任案は豫期通り再開勞頭のこの日遂に上程され、午後三時十二分議會解散の詔書は嚴として下されたのである

總選擧だ！

二月二十日が國民總意の決算の日である

『擧國一致內閣か政黨內閣か』

『政友會か民政黨か』

等々々

ポスターが、ビラが、立看板が刻々に帝都を、そして全國を、選擧戰の色彩で塗り潰していつた

――負けさうな顏は見えない土俵入り

特に帝都は一日毎に騷然たる雰圍氣の中へ總てが卷き込まれつゝあつた

正月が過ぎ二月に入つて愈々濃厚な選擧模樣を描き出した帝都を四日午後から猛然たる白雪が襲つた雪よ異例な大雪だつた。夜に入つて益々量を增し霏々として舞ひ紛々として亂れ止まるところを知らなかつた

早くも交通は杜絕し電信電話等の事故、頻出し市民はその足を奪はれ劇場がホテルに早變りする等の特異な悲喜劇が各所に生れた

四十餘年來の積雪であつた

帝都は全く白一色に彩られて了つてゐた

市民は唯茫然として、一瞬目睫の間に迫りつゝある總選擧をすら忘れてゐた

――粛正選擧の淨めの雪

――政黨も國民も甦る

ゝ者も選ぶ者もこの雪に對し同じ心を以て總選擧に臨め

新聞は、選擧と雪とを結ぶためにかうした文字を以てした

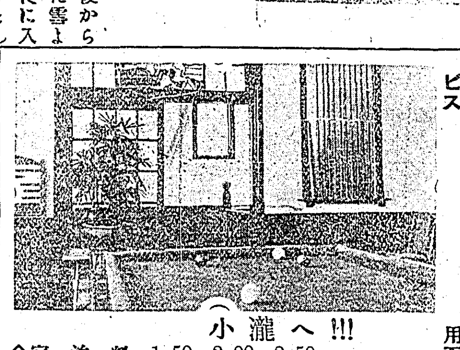
その中にこれも異例な總選擧の一つの彩りとなつた岡田首相等の街頭進出の事が賑やかな市井の話題を伴つて具体化されて來た

解散理由並に政府の政策政綱闡明のため岡田首相自ら街頭に進出して大衆に對する事に關しては解散以來幾度か論議が繰返されて來てゐたのだつた

閣僚も一致これを支持してゐたが岡田首相は餘り氣乘りしてゐないらしく見ねたが遂に町田新民政黨總裁の慫慂となり全閣僚からの要望となるに及び決然これを承認したので二月十七日日比谷公會堂に政府主催の演說會は開かれる事になつた

『政府主催』――既にこれからして特異な例であつた

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車無料乘車券サービス
乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自轉車店、湯本驛前丸本、矢內自動車店に御座います。三人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。



小瀧へ!!!
◇宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料　.20
◇自炊料　.50―.80　入浴料・室料 夜具料一切
◇料理一定食　.80　1.00　1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効　神經痛・リウマチス・胃腸病 痔疾・婦人病・逆上・中風肥・胖病
（內務省東京衞生試驗所檢定濟）
◇諸設備　撞球臺・高級ラヂオ・大廣間 讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所 小動物園・タクシー部・御子樣運動器具
◇名物　川魚料理（うなぎ・鯉）蜂密羊かん
◎女中數名入用◎
常磐線湯本驛　小瀧鑛泉
御旅館 御自炊　瀧の湯
電話（小名濱）103番

石城郡平町田町五番地
千代田火災保險株式會社代理店
丸三株式店
公社債株式 現物賣買 電話仲介
常盤光威
電話四六番
小店員募集（十五、六才）委細面談

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼續架工科 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）（電話五〇九番）
（見習看護婦募集）

各科專門醫擔當
磐城 共濟病院
院長 醫學博士 長谷部喜久
平町・電話六四一番

開院
皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
江尻醫院
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平町田町舊山內醫院跡
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

食事、喫茶、酒場を兼ねた
冬のサロン
男給の店
平・田町・電三五二

お醬油は……ヤマフル
醬屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌 醬油
たひら正宗
鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

貸切自動車
高級流線型
◎時代の要求!!
◎時代の寵兒!!!
皆樣の足
迅速 親切 叮嚀
◎お玄關からお玄關への……
◎豆タクを是非御利用下さい
平和タクシー
…賃金低廉普通料金の四割引…
豆タク部
植田台町
電話六十四番

御贈答品には
ニンベン
かつをぶし
宍戸屋商店
平町四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
鈴木醫院
內郷村高坂 磐炭病院前

危い一歩前で救はれ 更生を辿る七十名の娘達
平紹介所の身賣防止貸付資金 ＝既に二千六百餘圓

淪落の淵に沈まんとする娘女子の身賣り防止のため平職業紹介所では去る九年十二月來これら氣の毒な境遇に追ひつめられたものに就職資金を貸付け救濟の手を差しのべてゐるがはやこの額二千六百三十圓に上り、これによつて更生の喜びを得たもの七十名だと云ふ

昨年中は三十七名に合計千二十圓（最低二十圓最高五十圓）を貸付け相馬郡駒ヶ嶺方面が最も多かつた

この貸付けられた資金は何れも同所の斡旋により女工或は女中となつた本人が一ヶ月二圓內外宛回收してゐるがはや皆濟者三名程あり成績極めて良好なので同所では喜んでゐる

農村振興の功勞者 志賀氏(泉村)表彰さる
光榮！本縣で唯一人

畏くも高松宮殿下が農山漁村振興御奬勵の思召から御設定遊ばされたる有栖川宮記念厚生資金により本年前期分として選奬の光榮に浴した本縣關係は左の如し

表彰（銀製花瓶一個）農村振興功勞
泉村玉露字湯台通三〇 志賀澤之介

この事蹟！

村民の信望集る志賀氏は縣の信用組合理事玉露農事實行組合長の要職にありかつて縣農會、大日本農會より表彰されたことのある篤農家である、その事績左の如し

先づ經營の改善と努力による時は農業も有利なりとの信念の下に大正十二年新嘗祭獻穀謹作を命ぜられた時玉露部落の共有田をはじめ今日まで經行されてゐる泉村、湯本間の村道を改良、農業技術員を設置、農業補習學校（現泉青年學校）を設置、小學校にミシンや訓練用鐵砲を寄贈した、又家庭方面では十九夜會を起し養鷄所の改善をはかり養鷄豚組合を設立する等全般に亘る生活改善によりかつて三十萬圓の負債あつた同村は今では五萬圓を減じてゐる等村民の信望が厚い

縣下小學校長會議
來月二日平第三校で開催

縣では來月二日平第三校講堂に縣下小學校長五百餘名の外に青年學校長その他多數を召集、本部教育部會が過般の縣教育會及び東部聯合教育會等に提出可決を見た『皇紀二千六百年記念事業』に關する諮問協議があると

人車道を分けた上 ゆかし兩側に並木
役場前のモダン鋪裝

平町の鋪裝工事は漸次全町に亘つて行はれて居り、明年度には更にお膝元の役場前が美化される、平驛貨物係り前から才槌小路迄延長百二十四間（幅員六間）でこの工費五千餘圓、地元半額負擔によるものである

同工事は中央車道を硬質簡易鋪裝し道路の兩端各一間半を一段高く簡易鋪裝して歩道とし、更に車道と歩道の間には兩側に並木を配する等ダンゼン東京式のモダンなものであると

土木委員會

平町土木委員會は十八日午前十時から開き左諸諸件を附議する

滯渠使用事後承認願　町道廢止　町有地特賣　町有地存置　公園演藝舞臺補助申請

尙委員一行は同日明年度施行工事の四十二ヶ所を實地調査する

郡第一區 唱歌遊戯講習會
斯界の權威今泉氏招聘

郡第一區唱歌遊戯研究會主催唱歌遊戯舞踊大講習會は既報の如く明十六日より二日間植田小學校講堂に於て開催するが本年は恰も同會の發會十周年に相當するので特に講師として斯界の權威者である日本教育舞踊研究所長日本コロンビヤ會社教育部振興委員、日本般蜘協會常任理事、保育研究社舞踊部囑託である今泉蕊氏を迎ふる事に決定した

農事講習會

縣農事試驗場主催の郡下農事講習會は既報の如く來月十九日から二十三日迄平窪小學校に開くが講習科目は作物及農具と決定した

。開眼手術申込。。。。

過般の開眼檢診で嬉しい折紙をつけられた一人、仲間町猪狩和雄さんも昨十四日町役場に手術を受ける旨屆け出た

植田米增收
町農會の統計調る

植田町農會調査に係る昨年の米收穫高は水稻粳米耕地二百八十四町七反で六千三百三十七石價格十七萬七千四百三十七圓、糯米作付け二十九町で收穫五百三十九石價格一萬五千〇九十二圓計三百十三町七反六千八百九十六石價格十九萬二千五百二十八圓、陸稻粳米四町二反收穫五十石千二百五十圓、同糯米六町八反の八十六石二千二百三十六圓、計十一町百三十六石三千四百八十六圓で水陸稻を通じ前年に比し千二百五十石の增收であると

景氣の向上を示す 物價の漸騰氣配
町役場の統計成る

景氣の好轉を語る物價の漸騰氣配——町役場最近の調査による昨年上半期中の平均物價の主たるものは左の如く、白米、麥、大豆、小豆類は十月中一寸下つたが十一月に入つてまたグーッと騰り、鷄卵は七月中一ヶ三錢だつたのが十月から四錢、松材も十二月に入つて一躍三圓台の高騰を示し、石炭もトン當り七月中十二圓のが十二月に一圓騰つてゐる

△白米上一石三一、二六錢 △中三〇、二六 △下二九、四六 △大麥一五、七二 △小麥一九、五六 △大豆一八、五八 △淸酒九〇、〇〇 △醬油三五、〇〇 △味噌一貫匁五五 △茶百斤五六、〇〇 △牛肉同六四、〇〇 △鷄卵百個三、五六 △白砂糖百斤二〇、九六 △松角材二間物一本一三、一六 △杉同一三、〇〇 △松六分板一坪一、三七 △松丸太一本一、四八 △石油一箱五、一三 △石炭一噸一二、三三 △薪十貫匁三八 △炭同二、四〇 △半紙十帖六〇

差押へられた不良肥料を密賣
四倉の豪商收容さる

資産數十萬圓を有し溜通り有數の肥料問屋を營んでゐる四倉町仲田九一日本屋主人鈴木治作（五二）は今十五日野木刺事の拘引狀により封印破棄横領罪で平刑務支所に收容された

鈴木は昨年七月茨城縣佐貫驛前高橋肥料製造所から配合肥料二千俵を買ひ受けたがこの肥料は成分の足りない處から所定の保證票をつけずに附近農家に配給してゐたので縣では殘品百俵を差押へた

鈴木はそれにも拘らず差押へられた全部を賣り飛ばしたものである

縣養豚組合聯合會結成

小名濱平窪兩町村養豚組合では縣下同組合を一丸として縣養豚組合聯合會を結成する事となり來る二十五日郡山公會堂で創立總會を開くが今後の活動を期待されてゐる

滿洲農業移民
平町でも募集

平町でも目下縣當局からの通牒により第七次滿洲農業移民先遣隊を募集し、來月二十六日迄候補者を推薦報告する、本縣割當て人員は六十名である

資格は滿三十才迄であるが今年六月渡滿約十ヶ月の訓練後明年四月移住地に向ふので二十五、六才の獨身者で農耕に從事するものが適當であると

福永洋服店抽籤會
モーニングを當てた 幸運の前田淸美氏

平町田町福永洋服店では昨年九月十五日より客臘二十日迄を特賣期間とし三十圓以上の註文の顧客に對し感謝景品の抽籤券を贈り、各方面から福運抽き當ての日を待たれてゐたが今十五日午前十時から本社に於て新聞記者有志立會抽籤の結果左の通り當籤した

1モーニング及び縞ヅボン—植田町前田淸美氏 2ラクダオーバー、コーチング—東京市芝區伊皿子小柴伊作氏 3合背廣生地一着分—古河炭鑛鹽澤軍太郎氏、東京市芝區丸山氏 4同店十圓券—東京市芝區宮崎、平町渡邊久氏、福島貯蓄銀行平支店太田末吉氏 5カフスボタン—平町佐藤福太郎氏外九十七名

恐し傳染病
既往五ヶ年中に八十一名死亡

平町役場調査の既往五ヶ年の傳染病發生數は左の如く

	發生	死亡
七年	八〇	一一
八	七七	一六
九	七六	一三
十	一三五	二六
十一	一二二	一五

八十一名の尊い生命を奪つてゐる、昨年はヂフテリアの三十六名が筆頭で疫痢は三十名あつたが死亡率は少かつた

不貞の女房
姦通で告訴さる

澤渡村下市萱字根古屋二〇材木商淸野忠（三〇）妻ミツイ（二七）は子供三人あるにも拘らず夫の目を盜んで同家出入りの同村農會田常一（二八）と密通してゐた事判り此程常一と共に淸野から姦通罪で告訴された

青年坑夫猫自殺

湯本町入山炭礦坑夫安達郡針道村生れ小林淺之助（二七）は十三日深更曾て行きつけの湯本町三函料理店米川屋へ登樓家人のすきを見て猫いらずを嚥下間もなく絕命した、原因厭世

『桃色の家』に
平署の眼光る

草野村泉崎農大場小太郎（七六）爺は昨夜六時頃平署に『現金二十圓を盜まれたから……』と屆け出た

大場爺は同夜平町五丁目飮食店キクヤ事菊地ヤイ方で飮酒中居合せた秋田縣鹿野郡尾去澤村生れ山本キヨ（三二）に色仕掛けで同町新川町の裏長屋に連込まれ、ついウト〳〵するうち枕もとに置いた現金二十三圓がいつの間にか紛失したと云ふ

直に關係者を召喚目下嚴重取調べ中であるが、同署ではこれを契機に町內各所に結成？してゐる此種ナイトクラブの撲滅をはかる方針で目下內偵を進めてゐる

部落民一致の努力で 立派に經濟更生實現
汗の開墾から肥沃な新耕地十町歩 希望に輝く湯本の水野谷

農村とし云へば、直に經濟更生の文辭が聯想さるる迄に、其のお勝手元の樹て直しが今や全國的に叫ばれてゐる折柄、更まつて指定村と云ふでも無し、且つ別段當局の指導なく、既に夙く立派に更生の實を擧げてゐる部落がある。湯本町大字水野谷がそれ——入山の操業伸展に惠まるる必至の立場に在り乍ら、恒久的の福祉を築かねばならぬ事に着眼した同部落では同大字出身町議矢吹莊司氏等の提唱により昭和七年中從來採草地たるに止まつて別に之と云ふ利用價値の無かつた字龍ヶ澤地內公有林の開墾を計劃した。當時一二段歩の畑すら八重葎の簇生に委せ勝ちな農家さへあるにさうした宏大な土地を掘り起してどうする——などの異論もあつたが敢然町の救濟工事として着手し、三千四百圓を投じて翌八年三月廣袤實に十町歩の肥沃な新耕地を得た、而して此所に栗、柿の苗四千本を植栽し、柿の如きは既に結實を見る域に進んで居るが優良種を穩る爲に採取を見合せてゐるが、其畝間には小麥を作つて昨年中の收穫約百石、石十七圓として千七百圓の收益を見た此外更に日陰でも差支ないラッキョウ、ニンニクを作る豫定であるが主たる目的の果實額も兩三年後には立派に收益を見る事が出來る筈で全大字を十組に分け、舊戶數二反歩、新戶數一反歩の共同耕作と云ふ張り合ひから成績が自づと歷然たるものがある。而も將來收穫物の取引場所等に充てる爲邊に千四百圓を投じて十數坪の二階建公會堂を新築し二十一疊敷きの階上は部落の集會等に用ひ階下は留守番の居處と消防器具機械の置場として居るなど、諸事經濟更生の模範村たる實を擧げてゐる

中年女の盜み。。。。

好間村上好間字田代原農安齋マツ（三六）は舊臘二十六日向村居住大工丸山春次郎所有の鋸一挺（價格三圓五十錢）を盜んで平署に檢擧

靴泥捕る

內郷村字瀧五六炭礦坑夫關根榮吉（三八）は去る三日夜同村料理業福島屋事横山筆三郎方に登樓歸宅の際登樓客の同村鈴木菊次の短靴（十圓）を搔拂つたが發見され、主人等に追はれて盜んだ靴を町田川の中に棄てゝ逃走したが此程遂に平署に擧げられた

天氣豫報
（小名濱測候所發表）

今晩は北西の風晴
明日は北西の風晴後曇

十六日（小名濱測候所發表）
滿潮 前七、〇〇 後六、一〇
干潮 前〇、二五 後〇、三五

舊十二月四日
土曜 癸卯 先負 滿 女宿
新一月十六日

諸判定版權
東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神 誠 舘

▲一白 總はづみをすれば幸運に見離され災害あり▲二黑 飛鳥の網に罹るか如し希望計畫は中止せよ▲三碧 運氣平穩なれども物事に迷へば過ちある日▲四綠 人の指圖に從ひて我意を通さねば安全の日▲五黃 放まんに流れず緊張すれば一家は益々安泰▲六白 困難を物ともせず後の樂みを思ひて努めよ▲七赤 人の世話燒より身の回りの始末をするが吉▲八白 土地不案內の間路をたどる如し足元なば用心▲九紫 たうげにいこふ旅人の如し後は下りにて骨折れす

廣告

吉田眼科醫院

豆炭の特賣
一、品川豆炭 大袋 五貫匁入 金七十五錢也 小袋 壹貫匁入 金二十錢也
品質ハ豆炭界ノ最良品 壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
電話三七番 平驛前 阿部石炭店

洋服裁縫 多少經驗有中年者數名募集
至急來談を乞ふ
平町鍛冶町二六 宮田

しもやけ家傳藥
是マデしもやけハ暖カクナラネバ治ラヌモノト諦ラメテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用デくすれたしもやけモ忘レタ樣ニ完全ニ治リマス。
現今ノ塗藥トハ異リ罨法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。
しもやけハ寒サノ爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノデ塗藥等デハ決シテ治ルモノデハアリマセン、又くづれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ增シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中ニ心地良イ罨法ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子樣方ニモ喜バレ如何ニくずれたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シ下サイ。
東京 丸井邦寶堂
平町一丁目
福島茨城兩縣特約 伊藤石炭店

新車のおしらせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
ベビーフォード
入車いたしました。是非！御試乘の程を！
市內四〇錢…市外二割引
豆タクの……スギタクシー 電二一七番

父江尻中儀葬送の際は遠路態々御臨弔を辱ふし難有御禮申上候乍略儀以紙上御厚禮申述度如斯に御座候 敬具

昭和十二年一月十五日
石城郡鹿島村上矢田 江尻一
親戚總代 江尻寅次郎
友人總代 井上茂平 大和田與兵衛 佐藤萬太郎